

授業科目	成人看護学 原論	単 位	2単位	時 間 数	30時間	講 義 時 期	1年次	担 当 者	大澤 恵実子
								職 種	専任教員
授業の 目標・ね らい	<p>成人期における生理的諸機能、心理的発達、生活形態、社会的役割を理解し成人期の疾病成人期の疾病の特徴をとらえ、保健医療を通して、健康の保持増進の看護活動の概要を知る。</p> <p>目標</p> <p>1、成人各期の身体的、精神的、社会的特徴を理解する。</p> <p>2、成人期における保健医療の現状と動向について学び、疾病の予防、健康の保持増進のシステムを理解する。</p> <p>3、各健康のレベルに応じた個人または集団に対する健康教育の実際を理解する。</p> <p>4、成人期における疾病の特徴を知り健康問題が個人の社会・家庭生活に及ぼす影響を理解する。</p>								
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	成人とは				講義	大澤	
		2	家族とは				講義	大澤	
		3	仕事とは				講義	大澤	
		4	労働基準法・労働安全衛生法・労働三管				講義	大澤	
		5	健康的な生活をしているか				講義	大澤	
		6	グループワーク				演習	大澤	
		7	成人期にある人の健康				講義	大澤	
		8	成人期にある人の発表				演習	大澤	
		9	ヘルスプロポーション				講義	大澤	
		10	ヘルスプロポーション				講義	大澤	
		11	ストレス				講義	大澤	
		12	セルフケア				講義	大澤	
		13	病みの軌跡・関係を結ぶ				講義	大澤	
		14	成人の自己決定・成人看護を充実させる実践的環境				講義	大澤	
	15	試験・発表				演習	大澤		
評価方 法	筆記試験、グループワークへの参加態度により総合的に判断する								
履修上 の注意	一般でも使われるようになった用語(例:ヘルスプロモーション、コンプライアンス)が頻回に出てくる場合があります。用語の概念を良く覚えること。								
テキスト	NICE 成人看護学 概論 南江堂								
参考図 書	「国民衛生の動向」後日配布 専門Ⅱ 成人看護学総論 医学書院 成人看護学概論 ナーシンググラフィカ								

授業科目	成人看護学 看護方法Ⅰ 回復期	単位	看護方法Ⅰで1 単位	時間 数	16時間	講義 時期	1年次	担当者	松田 千春 奈木 志津子 松林 洋輝
								職種	専任教員 認定看護師
授業の 目標・ね らい	<p>回復期とは、疾病や外傷、手術などによって生命の危機状況にある急性期を脱し、身体の治癒過程が回復に向かって進行している時期である。健康状態としてはほぼ良好であるがまだまだ不安定であり、合併症や二次的障害を予防しながら社会復帰の準備をする時期である。</p> <p>このことを踏まえ、長期にわたり生活行動が障害される人や身体の一部を喪失した人の看護展開の具体的方法について学ぶ。</p> <p>1. 回復期にある成人の対象と家族の理解と健康障害に起こりうる健康問題を理解する。 2. 回復期の特徴を理解し、主要疾患の症状・治療・処置・検査時の看護と回復過程を合わせた看護を理解する。 3. 長期に生活行動が障害される人や身体の一部を喪失した人の看護展開が理解できる。</p>								
授業内容 および 方法	単元のまもり	回	主題				方法	担当者	
		1	回復期とは 法律				講義	松田	
		2	回復期にある成人の対象理解と家族の理解				講義	松田	
		3	循環器(心筋梗塞患者のリハビリテーション)				講義	松田	
		4	身体の一部を喪失した人の看護(乳房切除術後・大腸切除術後)				講義	松田	
		5	脳卒中の回復期(脳梗塞患者のリハビリテーション)				講義	松田	
		6	演習(弾性ストッキング・点滴ポンプなど)				演習	松田	
		7	脳卒中の患者の看護				講義	松林	
		8	身体の一部を喪失した人の看護(人工肛門造設者の看護)				講義	奈木	
		15	試験						
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験、および課題提出とその内容について総合的に判断する。								
履修上の注意	病態学の授業の復習をして、基礎知識をもって臨むこと。 3. 4に関しては一部を外部講師が担当するため授業準備はそのとき伝達する。								
テキスト	NICE リハビリテーション看護 障害を持つ人の可能性とともに歩む(南江堂) 系看 専門Ⅱ 成人看護学 脳神経・循環器・消化器 (医学書院) フィジカルアセスメント ガイドブック (医学書院) 写真でわかる臨床看護技術①②(インターメディカ)								
参考図書	症状別看護過程 アセスメント・看護計画がわかる!(照林社) NICE 成人看護学 成人看護学概論 (南江堂)								

授業科目	成人看護学 看護方法Ⅰ 回復期	単位	看護方法Ⅰで1 単位	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	増田 裕美
	職種		看護師						
授業の 目標・ねらい	<p>回復期とは、疾病や外傷、手術などによって生命の危機状況にある急性期を脱し、身体の治癒過程が回復に向かって進行している時期である。健康状態としてはほぼ良好であるがまだまだ不安定であり、合併症や二次的障害を予防しながら社会復帰の準備をする時期でもある。このことをふまえ、姿勢・運動を支える仕組みの障害のある人の看護を学ぶ。最新の整形外科疾患の治療・処置、検査を踏まえて臨地の最前線にいる看護師から教授を受ける。</p> <p>1. 姿勢・運動を支えるしくみに障害を理解し、おもな疾患の症状、治療、処置、検査時の看護と回復経過に合わせた看護を学ぶ。</p> <p>2. 姿勢・運動を支えるしくみに障害のある人の看護過程の展開が理解できる。</p>								
授業内容および 方法	単元のまとまり	回	主題				方法	担当者	
		1	整形外科看護①				講義	増田	
		2	整形外科看護 CPM ギブスカット				講義・演習	増田	
		3	整形外科看護 合併症について				講義	増田	
		4	試験					増田	
評価方法	筆記試験、および課題提出とその内容について総合的に判断する。								
履修上の注意	病態学の授業の復習をして、基礎知識をもって臨むこと。 3. 4に関しては一部を外部講師が担当するため授業準備はそのとき伝達する。								
テキスト	系看 専門Ⅱ 成人看護学 運動器 (医学書院) フィジカルアセスメント ガイドブック (医学書院) 写真でわかる整形外科看護(インターメディカ)								
参考図書	症状別看護過程 アセスメント・看護計画がわかる! (照林社) NICE 成人看護学 成人看護学概論 (南江堂)								

授業科目	成人看護学 看護方法Ⅰ 回復期	単位	看護方法Ⅰで1 単位	時間数	4時間	講義時期	1年次	担当者	兼子 泰一
								職種	医師
授業の 目標・ね らい	<p>回復期とは、疾病や外傷、手術などによって生命の危機状況にある急性期を脱し、身体の治癒過程が回復に向かって進行している時期である。健康状態としてはほぼ良好であるがまだまだ不安定であり、合併症や二次的障害を予防しながら社会復帰の準備をする時期でもある。</p> <p>熱傷、带状疱疹、膿痂疹、蕁麻疹、尋常性乾癬、老人斑などの疾患は頻繁に患う疾患である。このことをふまえ、成人看護学看護方法Ⅰの回復期にある患者の援助で医師から教授を受ける。</p> <p>1. 皮膚(皮膚科系)の障害の病態・診断と治療について理解させる。</p>								
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	皮膚講義 前半				講義	兼子	
		2	皮膚講義 後半				講義	兼子	
		3	試験						
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看:成人看護学12 皮膚(医学書院)								
参考図書									

授業科目	成人看護学 看護方法Ⅰ 回復期	単位	看護方法Ⅰで1 単位	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	小原 啓子 畑 泰代
								職種	医師 技能訓練士
授業の 目標・ねらい	<p>回復期とは、疾病や外傷、手術などによって生命の危機状況にある急性期を脱し、身体の治癒過程が回復に向かって進行している時期である。健康状態としてはほぼ良好であるがまだまだ不安定であり、合併症や二次的障害を予防しながら社会復帰の準備をする時期でもある。</p> <p>白内障、緑内障などは、頻繁に患う疾患であり、手術療法を行う。このことをふまえ、成人看護学看護方法Ⅰの回復期にある患者の援助で医師から教授を受ける。</p> <p>1. 視覚器(眼科系)の障害の病態・診断と治療について理解させる。</p>								
授業内容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	目の疾患の理解①				講義	小原	
		2	眼科の検査				講義	畑	
		3	目の疾患の理解②				講義	小原	
		4	試験					小原	
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看 専門分野成人看護学〔3〕 眼 (医学書院)								
参考図書									

授業科目	成人看護学Ⅱ 慢性期	単位	看護方法Ⅱで 1単位	時間数	12時間	講義時期	2年次	担当者	小沼 由美 河守 悦子
	職種							専任教員 認定看護師	
授業の 目標・ねらい	<p>成人の慢性期は、長期的にわたって疾患の管理をしながら社会生活を継続させなければならない。疾病のコントロールができないと、病状は悪化し、生命の危機的状態に至る場合もある。慢性期のライフステージの人々に対して、その人が望む健康生活を維持向上させることを支援することである。慢性期にある患者のヘルスケアに対する教育・指導・相談の技術は看護の役割として大きな援助をしめている。ここでは、看護の継続性と患者指導の原則・患者指導の実際を学習する。</p> <p>1. 成人の慢性期にある患者と家族の理解と健康障害に起こるうる健康問題を理解する。  2. 慢性期の健康障害をもつ患者の看護過程の展開ができる。  3. 長期的にわたって疾患の管理をしながら社会生活を継続する患者の看護を学ぶ。</p>								
授業内容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	慢性期にある患者の看護	1	成人の慢性期にある患者の特徴				講義	小沼	
		2	糖尿病患者の看護				講義	小沼	
		3	腎不全患者の看護				講義	小沼	
		4	肝硬変患者の看護				講義	小沼	
		5	慢性期にある患者の健康教育 ・患者教育、成人教育、学習理論、パンフレット作り				グループワーク 講義	小沼	
		6	ペースメーカーの患者の看護				講義	河守	
	7	試験					小沼・河守		
評価方法	筆記試験、課題提出								
履修上の注意	ペースメーカーの患者と看護については外部講師の講義								
テキスト	慢性期看護（南江堂） 成人看護学 内分泌・消化器・腎・循環器（医学書院）								
参考図書	氏家幸子監修「成人看護学C慢性疾患患者の看護」廣川書店 小島操子監訳「患者教育のための実践的アプローチ」メディカル、サイエンス、インターナショナル ナンシーIホイットマン他著「ナースのための患者教育と健康教育」 上田千恵子監修「クリニカルガイド患者指導」学習研究社 BKレッドマン著「患者教育のプロセス」医学書院 武山満智子訳「患者教育のポイント アセスメントから評価まで」医学書院 木場富喜他著「看護実践の教育・指導技術 健康教育・患者指導の基礎と技法」日総研								

授業科目	成人看護学Ⅱ慢性期	単位	看護方法Ⅱで1単位	時間数	8時間	講義時期	2年次	担当者	松田 千子
									職種
授業の目標・ねらい	<p>感染症とはウイルスや細菌あるいは真菌などの微生物が体内に増殖することによって生じるさまざまな病気の総称である。</p> <p>1. 感染により障害を受けた患者と家族を理解する。  2. 感染症が成立するための条件やそれを予防するための方法を学ぶ。  3. 感染による障害の特徴、症状、治療、処置、検査時の看護を学ぶ。</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	感染により障害を受けた患者の看護	1	感染症とは、感染の成立、感染症の病態生理				講義	松田	
		2	感染症の診断・検査、感染症の治療				講義	松田	
		3	感染症疾患の理解				講義	松田	
		4	感染経路別予防策、職業感染予防、サーベランス、予防接種				講義	松田	
	5	試験							
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看 専門分野Ⅱ成人看護学[11]アレルギー・膠原病・感染症（医学書院）								
参考図書									

授業科目	成人看護学Ⅱ慢性期	単位	看護方法Ⅱで1単位	時間数	6時間	講義時期	2年次	担当者	田中 四郎
								職種	医師
授業の目標・ねらい	<p>齲歯、知覚周囲炎、歯髄炎、三叉神経麻痺、顔面神経麻痺、悪性腫瘍、歯槽膿漏は、慢性期に多い疾患である。成人看護学看護方法Ⅱ慢性期にある患者の援助で医師から教授を受ける。</p> <p>1. 味覚障害の病態・診断と治療について理解させる。</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	味覚障害について ・齲歯、知覚周囲炎、歯髄炎、三叉神経麻痺、顔面神経麻痺、悪性腫瘍、歯槽膿漏など				講義	田中	
		2	味覚障害の検査について ・味覚検査、唾液分泌検査、咀嚼機能検査、咬合圧検査				講義	田中	
		3	治療について ・矯正治療、抜糸、歯槽骨整形術、歯根先端切除術、嚢胞摘出術				講義	田中	
		4	試験					田中	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看 専門分野Ⅱ成人看護学〔15〕 歯、口腔（医学書院）								
参考図書									



授業科目	成人看護学Ⅱ慢性期	単位	看護方法Ⅱで1単位	時間数	4時間	講義時期	2年次	担当者	山河 和博
	職種							医師	
授業の目標・ねらい	慢性副鼻腔炎、メニエール症候群、咽頭癌、難聴は、慢性期に多い疾患である。成人看護学看護方法Ⅱの慢性期にある患者の援助で医師から教授を受ける。 1. 聴覚・平衡感覚器の障害の病態・診断と治療について理解させる。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	聴平衡器障害について ・慢性副鼻腔炎、メニエール症候群、咽頭癌、難聴など				講義	山河	
		2	聴平衡器障害の検査について ・純音オーディオメトリ、耳管通気検査、咽頭ストロボスコピー、平衡機能検査など 治療について ・上顎洞穿刺、咽頭全摘術など				講義	山河	
		3	試験					山河	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看 専門分野Ⅱ成人看護学〔14〕耳鼻咽喉（医学書院）								
参考図書									

授業科目	成人看護学Ⅲ 急性期	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	塚田 佳代美 野澤 雅之 渡邊 貴洋 植田 猛	
								職種	専任教員 医師	
授業の目標・ねらい	<p>急性期にある対象の看護方法は、手術を受ける患者や生命の危機的状態にある患者である。それぞれの状態にある患者や家族の特徴を知り主な疾患をもつ看護展開の具体的方法について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人期の急性期にある患者と家族の理解と健康障害に起こりうる健康問題を理解する。</li> <li>2. 急性期の健康障害をもつ患者の看護過程の展開がわかる。</li> <li>3. 急性期における経過別看護の特徴を理解し、経過に応じた看護を学ぶ。</li> <li>4. 急性期の主要症状、治療、処置、検査時の看護方法を学ぶ。</li> <li>5. 手術を受ける患者や生命の危機的状態にある患者と家族の看護を学ぶ。</li> <li>6. 主要な消化器疾患の外科的治療と術後合併症について理解する。</li> </ol> <p>消化器外科を中心とした術前・術中・術後の経過を通して学びを深めることで急性期実習での実践に活用できることを目標とする。</p>									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題			方法	担当者			
		1	急性期、急性期看護の概念、急性の状態にある成人期の患者と家族の特徴			講義	塚田			
		2	救急医療の特徴と救急看護の役割、緊急性と重症度のアセスメント			講義	塚田			
		3	重症患者の看護(外傷、ショック、熱傷、急性中毒、意識障害)グループワ			GW	塚田			
		4	上記5項目の事例に基づいてホットラインから検査治療、看護について発表			発表	塚田			
		5	麻酔と手術侵襲に対する生体反応			GW	塚田			
		6	周手術期とは、術前の看護(不安のアセスメントと術前オリエンテーション)			講義	塚田			
		7	術前看護(術後合併症のリスクアセスメント)			講義	塚田			
		8	手術中の看護(手術中の安全管理、手術体位による影響と看護)			講義	塚田			
		9	手術中の看護(麻酔による影響と援助:循環管理・体温管理、退出時の看護)			講義	塚田			
		10	術後の看護(術後の観察と看護、ドレーン管理、疼痛の緩和、)			講義	塚田			
		11	術後合併症の観察と予防援助			講義	塚田			
		12	術後の看護(早期離床、創傷治癒過程、退院支援)			講義・演習	塚田			
		消化器外科疾患	13	外科総論、腫瘍、癌の進行、乳癌、胆石症			講義	植田		
			14	腸閉塞、小腸腫瘍、小腸穿孔、大腸癌			講義	野澤		
		15	食道癌、胃癌、ロボット手術			講義	渡邊			
			テスト				塚田			
単元ごとは順不同です。										
評価方法	筆記試験、講義、演習への参加態度により総合的に判断する。									
履修上の注意	<p>授業資料についてクリアファイルに整理を行い実習に活用できるようにする。</p> <p>追加学習は、別ファイルを準備し、随時整理を行うこと。</p> <p>授業中の課題については提出期限を厳守すること。</p> <p>目標6の消化器外科療法については外部講師の講義</p>									
テキスト	<p>系看別巻1臨床外科看護総論</p> <p>系看別巻2臨床外科看護各論</p> <p>NICE 成人看護学 急性期看護1 南江堂</p> <p>NICE 成人看護学 急性期看護2 南江堂</p> <p>パーフェクト臨床実習ガイドⅠ 成人看護Ⅰ 照林社</p>									
参考図書	<p>術前・術後の看護ケア ナツメ社</p> <p>高齢者と成人の周手術期看護 2・3 医歯薬出版株式会社</p> <p>よくわかる周手術期看護 学研</p>									

授業科目	成人看護学 看護方法Ⅳ 終末期	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	増田 幸子 羽下 貴子 織田 雅子 大石 麻里子 ホスピスセミナー 担当者	
								職種	専任教員 認定看護師	
授業の 目標・ね らい	<p>成人の終末期は、常に死を意識し、疼痛や各種の症状による苦痛や不安が強い。苦痛や不安を出来るだけ軽減し、その人にあったQOLを高める援助が求められる。常に終末期にある患者の最前にいる臨地の看護師から看護の実際を学ぶ。さらに、がんと共に生き抜く患者の特徴を理解するために、がん治療(化学療法・放射線療法)に必要な看護を知り、緩和ケアの介入の実際を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 終末期にある対象と家族の特徴を理解し、起こりうる健康問題を理解する。</li> <li>2. 終末期にある対象の看護の特徴を理解し、経過に応じた看護を学ぶ。</li> <li>3. 終末期にある対象の症状、治療、処置時の看護方法を学ぶ。</li> <li>4. がん患者が受ける治療や抱える苦痛を理解し、看護について学ぶ。</li> <li>5. 緩和ケアにおける患者・家族への看護について学ぶ。</li> </ol>									
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
	緩和 ケア	1	緩和ケアを必要とする患者と家族への看護				講義・演習	羽下		
		2	緩和ケアを必要とする患者と家族への看護(グループワーク)				講義・演習	羽下		
		3	心不全の緩和ケア				講義・演習	織田		
		4	慢性呼吸不全の緩和ケア				講義・演習	織田		
	看護 ケア	5	緩和ケアとは				講義・演習	増田		
		6	意思決定を支える看護				講義・演習	増田		
		7	身体症状(グループワーク)				講義・演習	増田		
		8	身体症状(発表)				講義・演習	増田		
		9	精神症状				講義・演習	増田		
		10	看護ケア				講義・演習	増田		
		11	看取りのケア				講義・演習	増田		
	ホス ピス	12	ホスピスセミナー①				講義	担当者		
		13	ホスピスセミナー②				講義	担当者		
		14	ホスピスセミナー まとめ				グループワーク	増田		
	15	がん化学療法看護の実際				講義・演習	大石			
		試験								
単元ごとは順不同です。										
評価方 法	筆記試験・取り組み姿勢									
履修上 の注意	ホスピスセミナーは施設見学も含むため、服装・態度など十分配慮してください。									
テキスト	看護学テキストNICE 緩和ケア 南江堂 看護学テキストNICE がん看護 南江堂 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ									
参考図 書	藤野彰子監修「看護技術ベーシック」医学芸術新社 平山正実「新体系看護学第35巻 生と死の看護論」メヂカルフレンド社									

授業科目	小児看護学原論	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次	担当者	赤堀 夏海
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	<p>小児各期の特徴を理解し、成長・発達について機能的側面や社会的側面から学び、小児を取り巻く社会・環境・保健・福祉・医療制度の仕組みを理解する</p> <p>1. 小児各期における身体発育・精神発達および発達課題を理解する</p> <p>2. 小児看護の機能と役割を理解する</p> <p>3. 激しく変化する社会の中で、小児がどのような問題をもち日常生活を営んでいるかを理解する</p> <p>4. 小児を取り巻く保健・医療・福祉の制度と活用について学ぶ</p>								
授業内容および方法	単元のまもり	回	主題				方法	担当者	
		1	小児看護のめざすもの 小児と家族の諸統計 小児看護の変遷				講義	赤堀	
		2	子どものトピックス 小児看護における倫理 小児看護の課題				GW	赤堀	
		3	子どもの成長・発達 成長とは 発達とは 成長・発達の進みかた				講義	赤堀	
		4	" 成長・発達の評価 影響因子				講義	赤堀	
		5	" 学童期 思春期 学校保健 虐待について				講義・GW	赤堀	
		6	現代の母子衛生 医療費 予防接種				講義・GW	赤堀	
		7	自分の成長を發表しよう DVD鑑賞80「目で見える子どもの保健」				講義・GW	赤堀	
		8	試験					赤堀	
単元ごとは順不同です。									
評価方法	<p>筆記試験80点</p> <p>子どものトピックス課題20点</p>								
履修上の注意	自分の子ども時代・成育歴などを振り返ることがあります。								
テキスト	系看 専門Ⅱ 小児看護学 (1) 小児看護学概論 (医学書院) 写真でわかる小児看護技術 (インターメディカ)								
参考図書	系看 専門Ⅱ 小児看護学 (2) 小児看護学各論 (医学書院)								

授業科目	小児看護学 疾患と治療	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	武藤 庫参 那須 裕郷	
								職種	医師	
授業の 目標・ね らい	健康障害を持つ小児の看護が実践できるために、専門基礎知識として小児の固有な症状や疾患について学ぶ 1. 小児医学の概念およびその歴史的な位置づけを理解する 2. 小児によく見られる疾患の病態生理について理解する 3. 小児によく見られる疾患の検査・治療について理解する									
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
		1	染色体遺伝				講義	武藤		
		2	新生児				講義	武藤		
		3	内分泌・代謝				講義	武藤		
		4	免疫・アレルギー				講義	武藤		
		5	ウイルス感染症				講義	武藤		
		6	呼吸器感染				講義	武藤		
		7	循環器疾患				講義	武藤		
		8	消化器疾患				講義	武藤		
		9	腎疾患				講義	武藤		
		10	神経疾患①				講義	武藤		
		11	神経疾患②				講義	武藤		
		12	精神疾患				講義	武藤		
		13	血液・造血器疾患、悪性腫瘍				講義	那須		
		14	アトピー性皮膚炎、皮膚疾患				講義	那須		
		15	抗生物質、感染症				講義	那須		
			試験					武藤・那須		
単元ごとは順不同です。										
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学〔1〕 小児看護学概論 (医学書院) 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学〔2〕 小児看護学各論 (医学書院)									
参考図書	国民衛生の動向 (厚生統計協会) 新体系 看護学全書 小児看護学 ① (メヂカルフレンド社) 小山真理子編 看護学基礎テキスト 看護の対象 (日本看護協会出版会)									

授業科目	小児看護学 看護方法Ⅰ	単位 1単位	時間数 30時間	講義時期 2年次	担当者	大澤 恵美子
	職種				専任教員	
授業の 目標・ねらい	<p>小児各期の特徴を理解し、小児の成長発達とそれに応じた看護を学ぶ。また、健康障害を持つ児と、その家族に対する看護について学ぶ。</p> <p>1. 小児が健康な生活を営むための保健・看護について学ぶ  2. 健康障害を持つ小児の特徴を踏まえ、小児看護の目的と役割を理解する  3. 健康障害を持つ小児とその家族を看護過程を用いて把握し、問題解決に向けて看護を展開する能力を養う</p>					
授業内容および 方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当者	
		1	子どもの栄養	講義	大澤	
		2	乳幼児の養育	講義	大澤	
		3	学童期の栄養 歯の衛生 排泄の世話 VIDEO鑑賞236「日常生活の習慣と自立」	講義	大澤	
		4	住居の衛生 子どもの事故 危険防止	講義・GW	大澤	
		5	危険予知トレーニング 子どもにとって家族とは 外来看護 DVD鑑賞20「子どもの安全を守る看護」	講義	大澤	
		6	沐浴演習	演習	大澤	
		7	遊びの意義 外来における小児と家族の看護	講義	大澤	
		8	プレパレーション ディストラクション DVD鑑賞635「小児看護技術:プレパレーション」	講義	大澤	
		9	災害時の子どもと家族の看護 DVD鑑賞43「災害看護概論」	講義	大澤	
		10	さくらんぼ保育園訪問 企画・準備・スケジュール立案	GW	大澤	
		11	さくらんぼ保育園訪問Aチーム身体測定 Bチーム遊び企画作成	演習	大澤	
		12	さくらんぼ保育園訪問Aチーム遊び企画作成 Bチームバイタル測定	演習	大澤	
		13	さくらんぼ保育園訪問Aチーム遊びの展開 Bチームペーパーペイシエント『事例ネフローゼの子ども』情報分類とアセスメント	演習	大澤	
		14	Aチームペーパーペイシエント『事例ネフローゼの子ども』情報分類とアセスメント さくらんぼ保育園訪問Bチーム遊びの展開	演習	大澤	
		15	試験 『事例ネフローゼの子ども』の看護展開の共有		大澤	
単元ごとは順不同です。						
評価方法	筆記試験(演習参加で受験資格あり) 課題提出					
履修上の注意	ハサミ・のり・色ペンなどの持ち物を依頼することがあります。 保育園への訪問等では爪、頭髪、アクセサリー等節度を考え、服装を整え参加すること。					
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学〔1〕 小児看護学概論 (医学書院) 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学〔2〕 小児看護学各論 (医学書院) 写真でわかる小児看護技術 (インターメディカ)					
参考図書						

授業科目	小児看護学 看護方法Ⅱ		単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	大澤 恵美子 川合 育子 松本 浩美	
									職種	専任教員 看護師 認定看護師	
授業の 目標・ねらい	健康障害を持つ小児と家族を理解し、小児と家族がどのような状態にあっても可能な限り成長発達できるよう、個別的看護が実践できるために必要な知識・技術を修得する 1. 健康障害や入院が小児や家族に与える影響について理解する 2. 小児に特有な健康障害と看護について理解する 3. 小児に特有な基礎的知識および技術を習得する										
授業内容および 方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	障がいのある子どもと家族との交流とボランティア参加					演習	大澤		
		2	ボランティア参加の体験発表					GW	大澤		
		3	疾病と障害のある子どもの看護					講習	大澤		
		4	小児のアセスメント					講習	大澤		
		5	フィジカル・ヘルスアセスメント 実践					演習	大澤		
		6	検査時の看護・予薬					講習	大澤		
		7	検査時の看護・採尿・ルンバール・マルク					講習	大澤		
		8	新生児(低出生体重児)の看護					講習	川合		
		9	新生児の蘇生・入院中の子どもと家族の看護					講習	川合		
		10	在宅看護の必要な子どもと家族の看護					講習	川合		
		11	周手術期・終末期の子どもと家族の看護 症状を示す子どもの看護					講習	川合		
		12	周手術期・終末期の子どもと家族の看護 症状を示す子どもの看護					講習	川合		
		13	周手術期・終末期の子どもと家族の看護					講習	川合		
		14	障害をもつ子どもと家族の看護					GW	川合		
		15	試験								
単元ごとは順不同です。											
評価方法	筆記試験(演習参加で受験資格あり)										
履修上の注意											
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学〔1〕 小児看護学概論 (医学書院) 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学〔2〕 小児看護学各論 (医学書院) 写真でわかる小児看護技術 (インターメディカ)										
参考図書	小児看護技術 小児看護学②(ナーシンググラフィカ) 根拠と事故防止から見た小児看護技術 (医学書院) 小児看護学 第7版 (日総研)										

授業科目	老年看護学原論	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次	担当者	押尾 智子
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	1. 老化に伴う身体的・精神的・社会的特徴を理解し、高齢者を総合的に捉える能力を養う。 2. 高齢者を取り巻く社会状況と諸問題について学び、老年看護の意義及び機能・役割について理解する。 3. 老人医療・保健・福祉の動向を学び、わが国の今日的課題を理解する。 4. 自分なりの老年観を論述できる。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題			方法	担当者		
		1	ガイダンス 老いるということ、高齢者とは			講義	押尾		
		2	疑似老人体験			演習	押尾		
		3	疑似老人体験振り返り 加齢変化 身体面			講義	押尾		
		4	加齢変化 心理・社会面 高齢者に関わる現代社会の問題			講義、GW	押尾		
		5	超高齢社会の統計的輪郭「国民衛生の動向」			講義	押尾		
		6	高齢者の健康や暮らしの現状 グループワーク			GW	押尾		
		7	高齢者の健康や暮らしの現状 グループ発表			GW発表	押尾		
		8	超高齢社会における保健医療福祉の動向			講義	押尾		
		9	介護保険制度・高齢者医療の仕組みについて			講義	押尾		
		10	高齢者の権利擁護			講義	押尾		
		11	高齢者を支える多職種連携			講義	押尾		
		12	いきいきクラブとの交流会準備			企画GW	押尾		
		13	いきいきクラブとの交流会			運営	押尾		
		14					押尾		
	15	終講テスト、いきいきクラブとの交流会振り返り				押尾			
評価方法	筆記試験＋レポート課題								
履修上の注意	・夏季休暇中の課題あり。 「疑似老人体験」・「いきいきクラブ」交流会の2項目について実施後、レポートを提出する。								
テキスト	北川公子他編集：「系統看護学講座 老年看護学」医学書院 「国民衛生の動向 厚生指標 臨時増刊」財団法人 厚生統計協会（8月出版）								
参考図書	大淵律子編集：「ナーシング・グラフィカ 老年看護学 高齢者の健康と障害」メディカ出版 他 奥野茂代・大西和子編集「老年看護学 概論と看護の実践」ヌーベルヒロカワ 高齢社会白書 令和3年度版 内閣府								



授業科目	老年看護学 疾患と治療		単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	2年次	担当者	山形 桂司 加藤 弘文	
									職種	専任教員	
授業の 目標・ね らい	1. 老年期に起こりやすい疾患と老化の関連性を理解する。 2. 老年期に起こりやすい疾患の症状・検査・治療を理解させる。 3. 老年期の疾患が老人の生活に与える影響を知り、老年のQOLを考えることができる。										
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
	脳疾患	1	認知症 アルツハイマー病					講義	山形		
		2	その他の認知症					講義	山形		
		3	脳血管障害					講義	山形		
		4	パーキンソン病					講義	山形		
		5	うつ状態					講義	山形		
	運動器疾患	6	運動器不安定症、骨粗鬆症					講義	加藤		
		7	老人に多い骨折、脊柱管狭窄症					講義	加藤		
		8	慢性関節リウマチ					講義	加藤		
		9	試験								
単元ごとは順不同です。											
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	系看・専門分野Ⅱ 「老年看護 病態・疾病論」(医学書院)										
参考図書											

授業科目	老年看護学 看護方法Ⅰ	単位 1単位	時間数 30時間	講義時期 2年次	担当者 藪崎 優子 山本 淳子
	職種 認定看護師 専任教員				
授業の 目標・ね らい	<p>老年期にある対象は、長年の生活習慣により、個性性が著しくその人に合わせた看護が求められる。老年者の特徴を理解し、どのようにとらえる必要があるのか必要な看護について考え、対象に合わせた看護技術の方法を学ぶ。</p> <p>1.老年者の身体的・心理的・社会的特徴をふまえ、対象のとらえ方や看護過程の展開上の特徴を理解する。 2.老年看護技術の特徴を理解し、老年看護に応用する看護技術の基礎知識を持つ。 3.老年者の健康状態を評価し、それぞれの健康状態に応じた日常生活への援助方法を理解する。</p>				
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当者
	老年看護 における基 本技術	1	老年看護における基本技術 コミュニケーション	講義	藪崎
		2	老年看護における基本技術 食事	講義	藪崎
		3	老年看護における基本技術 排泄	講義	藪崎
		4	老年看護における基本技術 睡眠	講義	藪崎
		5	老年看護における基本技術 身体活動と移動	講義	藪崎
		6	老年看護における基本技術 衣類と清潔	講義	藪崎
		7	老年看護における基本技術 環境	講義	藪崎
	看護過程 と身体症状 アセスメント	8	高齢者の特徴と加齢変化	講義	山本
		9	高齢者の看護過程の特徴	講義・グループワーク	山本
		10	老年期の対象の状況に合わせた看護技術とは	グループワーク	山本
		11	事例検討 アセスメントの方向性を考える①	グループワーク	山本
		12	事例検討 アセスメントの方向性を考える②	グループワーク	山本
		13	老年者に対する看護技術を考える	全体学習会	山本
		14	老年者に対する看護技術を考える	全体学習会	山本
		15	事例をふまえ技術を考える	講義・演習	山本
		16	試験		山本
単元ごとは順不同です。					
評価方法	筆記試験 グループワークや事前事後学習などの演習レポート・参加度				
履修上の注意	老年看護学原論、基礎看護技術の基礎知識を持って受講すること 老年看護学実習に向けて、アセスメントガイドを作成します。講義と並行して準備をしていくこと(リングファイル準備必要)				
テキスト	系看:専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院				
参考図書	奥野茂代・大西和子編集:「老年看護技術 アセスメントのポイントとその根拠」ニューベルヒロカワ 奥野茂代・大西和子編集:「老年看護学 概論と看護の実践」ニューベルヒロカワ 東京都健康長寿医療センター看護部 :「写真でわかる高齢者ケア」インターメディカ 正木治恵編集:「老年看護学実習ガイド」照林社				

授業科目	老年看護学 看護方法Ⅰ	単位 1単位	時間数 30時間	講義時期 2年次	担当者	藪崎 優子 山本 利恵子 山本 淳子
	職種				認定看護師 専任教員	
授業の 目標・ね らい	<p>老年期にある対象は、長年の生活習慣により、個性が著しくその人に合わせた看護が求められる。老年者の特徴を理解し、どのようにとらえる必要があるのか、必要な看護について考える事ができるよう看護過程の視点を学ぶ。</p> <p>そして、看護の最前線にいる臨地の看護師から最新の老年看護の看護方法を学ぶ。</p> <p>1.老年者の看護過程展開上の特徴と留意点を理解する。 2.老年看護技術の特徴を理解し、老年看護に応用する看護技術の基礎知識を持つ。 3.老年者の健康状態を評価し、それぞれの健康状態に応じた日常生活への援助方法を理解する。</p>					
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題		方法	担当者
	老年看護 における基 本技術	1	老年看護における基本技術 コミュニケーション		講義	藪崎
		2	老年看護における基本技術 食事		講義	藪崎
		3	老年看護における基本技術 排泄		講義	藪崎
		4	老年看護における基本技術 睡眠		講義	藪崎
		5	老年看護における基本技術 身体活動と移動		講義	藪崎
		6	老年看護における基本技術 衣類と清潔		講義	藪崎
		7	老年看護における基本技術 環境		講義	藪崎
	褥瘡ケ ア	8	褥瘡予防と対処について①		講義	山本利
		9	褥瘡予防と対処について②		講義	山本利
	看護過 程と身 体症状 アセス メント	10	老年者の看護過程の特徴・加齢変化		講義	山本
		11	事例検討 アセスメントの方向性を考える①		講義	山本
		12	全体像をどのような視点でとらえていくか・関連図の記入の方法		グループワーク	山本
		13	事例検討 アセスメントの方向性を考える②		講義・グループワーク	山本
		14	事例検討 アセスメントの方向性を考える③		講義・グループワーク	山本
		15	老年者の特徴 心理・社会面・理論		講義	山本
		16	試験			山本
単元ごとは順不同です。						
評価方 法	筆記試験					
履修上 の注意	老年看護学原論、基礎看護技術の基礎知識を持って受講すること 老年看護学実習に向けて、アセスメントガイドを作成します。(リングファイル準備必要)					
テキスト	系看：専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院					
参考図 書	<p>奥野茂代・大西和子編集：「老年看護技術 アセスメントのポイントとその根拠」 ヌーベルヒロカワ</p> <p>奥野茂代・大西和子編集：「老年看護学 概論と看護の実践」 ヌーベルヒロカワ</p> <p>東京都健康長寿医療センター看護部：「写真でわかる高齢者ケア」インターメディカz</p> <p>正木治恵編集：「老年看護学実習ガイド」 照林社</p>					

授業科目	老年看護学看護方法Ⅱ	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	山本 利恵子 小沼 由美
								職種	認定看護師 専任教員
授業の目標・ねらい	1. 認定看護師から最新の褥瘡予防や対処方法を学ぶ。 2. 老年期にある対象者とその家族について理解し、老年期の特徴から見た看護の視点と援助の基本を理解する。 3. 老人患者と家族を取り巻く保健医療・福祉チームの活動における看護師の役割と老人の継続看護の基本を理解する。 4. 老年期にある対象者の健康段階、ケアが提供される場によるQOLを考える。								
授業内容および方法	単元のまとまり	回	主題				方法	担当者	
	褥瘡ケア	1	褥瘡予防と対処について①				講義	山本	
		2	褥瘡予防と対処について②				講義	山本	
	老年期にある対象者の看護	3	老年者の疾患の特徴、入院、薬物療法				講義	小沼	
		4	パーキンソン病のある患者の看護				講義	小沼	
		5	認知症のある患者の看護				講義	小沼	
		6	せん妄、うつ病のある患者の看護				講義	小沼	
		7	手術を受ける高齢者の看護 ①				講義	小沼	
		8	手術を受ける高齢者の看護 ②				講義	小沼	
		9	リハビリテーションを受ける高齢者の看護				講義	小沼	
		10	エンドオブライフケア、末期段階に求められる援助				講義	小沼	
		11	高齢者を取り巻く家族への看護				講義	小沼	
		12	施設について考える(グループ発表)				グループワーク	小沼	
		13	永福荘・あすか 施設見学				施設見学	小沼	
		14	永福荘・あすか 施設見学				施設見学	小沼	
		15	高齢者への継続看護の必要性と退院支援、看護サマリー				講義	小沼	
16		試験					小沼		
履修上の注意	学生便覧に準ずる								
テキスト	北川公子著:「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院 鳥羽研二著:「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論」医学書院								
参考図書	大淵律子編集:「ナーシング・グラフィカ 老年看護学 老年看護の実践」メディカ出版 大淵律子編集:「ナーシング・グラフィカ 老年看護学 健康と障害」メディカ出版 東京都健康長寿医療センター看護部:「写真でわかる高齢者ケア」インターメディカ 正木治恵編集:「老年看護学実習ガイド」照林社 奥野茂代・大西和子編集:「老年看護技術 アセスメントのポイントとその根拠」ヌーベルヒロカワ 奥野茂代・大西和子編集:「老年看護学 概論と看護の実践」ヌーベルヒロカワ 竹村信彦著:「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学7 脳・神経」医学書院								

授業科目	老年看護学 看護方法Ⅱ	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	小沼 由美
							職種	専任教員	
授業の 目標・ね らい	1. 老年期にある対象者とその家族について理解し、老年期の特徴から見た看護の視点と援助の基本について理解する。 2. 老人患者と家族を取り巻く保健医療・福祉チームの活動における看護師の役割と老人の継続看護の基本を理解する。 3. 老年期にある対象者の健康段階、ケアが提供される場によるQOLを考える。								
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	映像から認知症を考える				ビデオ	小沼	
		2	認知症のある患者の看護				講義	小沼	
		3	せん妄、うつ病のある患者の看護				講義	小沼	
		4	パーキンソン病のある患者の看護				講義	小沼	
		5	エンドオブライフケア、末期段階に求められる援助				講義	小沼	
		6	治療を必要とする高齢者の看護				講義	小沼	
		7	施設について考える(グループ調べ)				グループワーク	小沼	
		8	手術を受ける高齢者の看護				講義	小沼	
		9	施設について考える(グループ発表)				グループ発表	小沼	
		10	リハビリテーションを受ける高齢者の看護				講義	小沼	
		11	永福荘・あすか 施設見学				施設見学	小沼	
		12	永福荘・あすか 施設見学				施設見学	小沼	
		13	高齢者を取り巻く家族への看護				講義	小沼	
		14	高齢者への継続看護の必要性と退院支援、看護サマリー				講義	小沼	
	15	試験							
評価方法	筆記試験 グループワークの取り組みの評価を含む 特別養護老人ホーム見学への取り組み(事前準備・態度)の評価を含む								
履修上の注意	学生便覧に準ずる								
テキスト	北川公子著:「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院 鳥羽研二著:「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論」医学書院								
参考図書	大淵律子編集:「ナーシング・グラフィカ 老年看護学 老年看護の実践」メディカ出版 大淵律子編集:「ナーシング・グラフィカ 老年看護学 健康と障害」メディカ出版 東京都健康長寿医療センター看護部:「写真でわかる高齢者ケア」インターメディカ 正木治恵編集:「老年看護学実習ガイド」照林社 奥野茂代・大西和子編集:「老年看護技術 アセスメントのポイントとその根拠」ヌーベルヒロカワ 奥野茂代・大西和子編集:「老年看護学 概論と看護の実践」ヌーベルヒロカワ 竹村信彦著:「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学7 脳・神経」医学書院								

授業科目	母性看護学原論	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	川合 陽子
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	1. 母性看護の基本概念と対象の身体的特性、心理・社会的特性について学ぶ。 2. 母性看護の変遷と現状について知り、母性看護に関する法律・施策を学ぶ。 3. sexualityの意義について学ぶ。 4. 母性に影響を与える環境と母性保護について学ぶ。 5. 母性各期の保健について学ぶ。 6. 母性と倫理について考える。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	母性とは 母性の身体的特性と心理・社会的特性、DVD視聴:(NHKドキュランドへようこそ:愛を科学する)				講義	川合	
		2	母子関係と家族発達 母性看護における主要概念(リプロダクティブヘルス/ライツ)				講義	川合	
		3	母性看護における主要な概念(ヘルスプロモーション、エンパワーメント)				講義	川合	
		4	母性看護の考え方・あり方、Women Centerd Care、Family Centerd Care、母性看護の対象とは				講義	川合	
		5	Sexality(セックスとジェンダー、人間の性行動の特徴、性反応、性の多様性)				講義	川合	
		6	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状(母性看護の変遷、母性看護に関する施策・法律)				講義	川合	
		7	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状(母子保健統計)				講義	川合	
		8	母性のライフステージ各期の特徴と看護:思春期の身体的、心理・社会的特徴				講義	川合	
		9	母性のライフステージ各期の特徴と看護:思春期の健康問題と看護(性感染症・月経困難症)				講義	川合	
		10	母性のライフステージ各期の特徴と看護:思春期の健康問題と看護演習(保健指導・ピアカウンセラー体験)				演習	川合	
		11	母性のライフステージ各期の特徴と看護:成熟期の身体的、心理・社会的特徴、健康問題と看護				講義	川合	
		12	母性のライフステージ各期の特徴と看護:更年期・老年期の身体的、心理・社会的特徴				講義	川合	
		13	母性のライフステージ各期の特徴と看護:更年期・老年期の健康問題と看護(更年期障害、尿失禁、骨粗しょう症)				講義	川合	
		14	現代社会における母性看護の課題				講義	川合	
		15	試験 DVD視聴:(NHKハートネットTV:僕たちの選んだ結婚)				テスト	川合	
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験とレポート提出課題で評価する。								
履修上の注意	母性看護学の対象はマタニティサイクルにある女性だけでなく、すべてのライフサイクルにある女性とその家族、そしてその対象の生活する地域社会をも含みます。広く母性を捉え、母性を取り巻く現状や社会情勢に目を向け、看護として今何をすべきかともに考えていきましょう。								
テキスト	系統看護学講座 母性看護学概論 母性看護学[1](医学書院)								
参考図書	母性看護学概論 ウイメンズヘルスと看護(メヂカルフレンド社) 親と子のきずなはどうつくられるか クラウス/ケネル(医学書院) 国民衛生の動向								

授業科目	母性看護学 生命を育む看護 I	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	徳山 今日子 小松 孝之
								職種	専任教員 医師
授業の目標・ねらい	1. 正常の妊娠・分娩・産褥・新生児の経過について理解する 2. 妊娠期・分娩期・産褥期の健康問題について理解する								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	正常経過	1	妊娠経過・生理				講義	徳山	
		2	母体の変化・胎児の特徴				講義	徳山	
		3	妊婦と胎児のアセスメント				講義	徳山	
		4	正常分娩の経過				講義	徳山	
		5	正常分娩の経過				講義	徳山	
		6	産褥の経過 退行性変化				講義	徳山	
		7	産褥の経過 進行性変化				講義	徳山	
		8	新生児の経過				講義	徳山	
		9	新生児の経過				講義	徳山	
		10	試験 総まとめ				講義	徳山	
	異常経過	11	生殖医療入門				講義	小松	
		12	妊娠の仕組みと初期の異常				講義	小松	
		13	妊娠高血圧、母子感染症				講義	小松	
		14	分娩の異常				講義	小松	
		15	産褥の異常				講義	小松	
			試験						
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系統別看護学講座:専門Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学[2](医学書院)								
参考図書	系統看護学講座 専門Ⅱ 解剖生理学 (医学書院) 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 女性生殖器(医学書院)								

授業科目	母性看護学 生命を育む看護Ⅱ-1	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	徳山 今日子
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	1. 子どもを産み育てるための対象者の理解とそれらを支える援助の在り方を理解する。 2. 正常の妊娠・分娩・産褥・新生児の経過とその看護について理解する。 3. 母性看護学実習での妊娠、分娩、産褥期にある人の看護過程の展開が実習記録を用いて理解できる。								
授業内容および方法	単元のまもり	回	主題				方法	担当者	
	正常経過の看護	1	母性看護学とは 妊婦健康診査に関わる看護				講義	徳山	
		2	妊婦健康診査と保健指導				講義	徳山	
		3	妊娠期の保健指導				講義	徳山	
		4	妊娠期の看護過程				講義	徳山	
		5	分娩看護各期の看護について				講義	徳山	
		6	分娩看護各期の看護について				講義	徳山	
		7	産褥期看護 退行性変化を促す看護				講義	徳山	
		8	産褥期看護 進行性変化を促す看護				講義	徳山	
		9	産褥期看護 セルフケアを促す看護				講義	徳山	
		10	新生児看護 出生時の看護				講義	徳山	
		11	新生児看護 バイタルサイン測定方法				演習	徳山	
		12	新生児看護 移行期の看護				講義	徳山	
		13	産褥看護の看護過程				GW	徳山	
		14	産褥看護の看護過程				GW	徳山	
15		試験							
評価方法	筆記試験 産褥婦の看護過程の展開の課題								
履修上の注意	・ポートフォリオ作成を行う。期日には提出できるように計画的に進める。								
テキスト	母性看護学各論 母性看護学(2)(医学書院)								
参考図書	周産期ケア・マニュアル(医学芸術社) 母性看護実習ガイド(照林社) 新生児学入門(医学書院) 写真でわかる母性看護技術(インターメディカ) 母性看護学Ⅱ 周産期各論 医歯薬出版株式会社								



授業科目	母性看護学 生命を育む看護Ⅱ-2	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	堀 彩乃
								職種	助産師
授業の目標・ねらい	1. こどもを産み育てるための対象者の理解とそれらを支える援助の在り方を学ぶ。 2. 妊娠・分娩・産褥の異常経過とその看護について理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	妊娠期の異常 高若年齢妊娠 ハイリスク妊娠				講義	堀	
		2	不妊症と治療 多胎妊娠				講義	堀	
		3	妊娠疾患 妊娠持続期間の異常				講義	堀	
		4	分娩期の異常(分娩三要素の異常)				講義	堀	
		5	胎児機能不全 異常分娩				講義	堀	
		6	帝王切開の看護 産褥期の異常				講義	堀	
		7	産褥期の異常と看護				講義	堀	
		8	試験						
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看 母性看護学[2]母性看護学各論 (医学書院)								
参考図書									

授業科目	精神看護学原論	単位	精神看護学原論で1単位	時間数	20時間	講義時期	1年次	担当者	栞原 和恵	
								職種	専任教員	
授業の目標・ねらい	1. 人間のこころの発達とこころの健康の保持増進のために必要な知識を学ぶ。 2. 精神看護の基本的な考え方について理解できる。 3. 精神保健医療福祉の変遷を、歴史的・社会的・医療的見地から理解できる。									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当者					
		1	精神看護の位置づけ、こころの健康とは何か	講義	栞原					
		2	フロイトの精神分析、自我の防衛機制とは	講義	栞原					
		3	こころの機能の特性、危機の段階と介入	講義	栞原					
		4	こころの発達理論とは	講義	栞原					
		5	こころの発達理論	GW	栞原					
		6	こころの発達理論について発表を聞き理解を深める	GW発表他	栞原					
		7	精神保健医療の歴史	講義	栞原					
		8	今日の精神保健医療の現状、リエゾン精神看護	講義	栞原					
		9	精神障害者における倫理を考える	講義、GW	栞原					
		10	精神保健福祉の動向と課題	講義	栞原					
		11	試験		栞原					
単元ごとは順不同です。										
評価方法	筆記試験 60点分									
履修上の注意	こころの発達過程を考える意味で、心理テストを行います。その後結果の振り返りした上で、提出してもらいます。必ず期限を守り提出してください。									
テキスト	精神看護学 I 精神保健学 HIROKAWA パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 照林社									
参考図書	・新自分さがしの心理学 川瀬正裕他 ナカニシヤ出版 ・東京大学医学部心療内科編:新版エゴグラムパターン 金子書房									

授業科目	精神看護学原論	単位	精神看護学原論で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次	担当者	田口 博之
								職種	医師
授業の目標・ねらい	1. 人間の心の発達を基盤に心の危機状況を学習し、心の不健康の意味と援助を考える。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	現代社会と精神保健的問題 自殺				講義	田口	
		2	対象喪失の過程 依存症、周産期のメンタルヘルス				講義	田口	
		3	身体疾患を持つ人の心の健康				講義	田口	
		4	ターミナルケア 精神保健と社会				講義	田口	
		5	学校と精神保健 職場と精神保健 社会資源 災害時の精神保健				講義	田口	
		6	試験						
	単元ごとは順不同です。								
評価方法	筆記試験 40点分								
履修上の注意									
テキスト	精神看護学 I 精神保健学 HIROKAWA パーフェクト実習ガイド 精神看護学 照林社								
参考図書									

授業科目	精神看護学 疾患と治療	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	2年次	担当者	田口 博之
								職種	医師
授業の 目標・ね らい	主な精神疾患の病因・病像・症状・経過・治療を学び、精神に健康問題をもつ人の看護の基礎とする。 1. 精神医学の概念及びその歴史的な位置付けを理解する。 2. 正常な精神現象をふまえて、病的な精神症状や知覚障害を理解する。 3. 精神科治療に必要な診断の基礎を理解する。 4. 精神疾患の治療である薬物・精神・社会復帰療法を理解する。 5. 主な精神疾患の症状の種類と特徴・診断・発病後の経過・治療時の留意点を理解する。								
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	精神疾患の捉え方 総論(1)				講義	田口	
		2	総論(2)				講義	田口	
		3	総論(3)				講義	田口	
		4	てんかん、統合失調症				講義	田口	
		5	躁うつ病、物質依存症				講義	田口	
		6	心因性の障害、老年期精神障害				講義	田口	
		7	児童・青年期精神障害、リエゾン精神医学				講義	田口	
		8	試験				講義	田口	
	単元ごとは順不同です。								
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	精神看護学 I 精神保健学 HIROKAWA パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 照林社								
参考図書									

授業科目	精神看護学 看護方法Ⅰ		単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	押尾 智子 渡邊 里佳 中部保健所保健師	
										職種	専任教員
授業の 目標・ねらい	1. 精神科における対象を理解する。 2. 精神科におけるケアの方法を理解する。 3. 看護の倫理と人権擁護を理解する。 4. 入院環境と治療的アプローチを理解する。 5. 精神保健活動とリハビリテーションについて理解する。 6. わが国の精神保健福祉の動向と課題										
授業内容および 方法	単元のまもり	回	主題					方法	担当者		
		1	精神に健康問題を持つ人の理解					講義	押尾		
		2	精神に健康問題を持つ人の理解 DVD鑑賞とレポート					DVD鑑賞	押尾		
		3							押尾		
		4	精神科におけるケアとは					講義	押尾		
		5	精神科患者に対する人権擁護					講義	押尾		
		6	入院環境と安全管理 治療的アプローチ					講義	押尾		
		7	リハビリテーションと看護					講義	押尾		
		8	治療的かわりとしてのコミュニケーション					講義	押尾		
		9	精神科看護におけるプロセスレコードの活用					講義	押尾		
		10	県立こころの医療センター見学					施設見学	押尾		
		11							押尾		
		12	精神保健活動と精神保健福祉士としての役割					講義	精神保健福祉士		
		13	精神保健福祉の動向と事業の内容					講義	保健師		
		14	精神科看護のまとめ					講義	押尾		
	15	終講試験						押尾			
評価方法	筆記試験										
履修上の注意	施設見学後提出課題あり										
テキスト	精神看護学Ⅰ 精神保健学 HIROKAWA パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 照林社										
参考図書	・川野雅資著:患者－看護婦関係とロールプレイング 日本看護協会出版会 ・川野雅資著:看護観察のキーポイントシリーズ 精神科ⅠⅡ 中央法規 ・系看 専門分野Ⅱ 精神看護学Ⅰ 精神看護の基礎 医学書院 ・系看 専門分野Ⅱ 精神看護学Ⅱ 精神看護の展開 医学書院 ・萱間真美他編集:精神看護学Ⅱ臨床で活かすケア 南江堂										

授業科目	精神看護学 看護方法Ⅱ		単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	毛利 智果 玉井 よね 吉永 洋子 塚本 伸一		
									職種	専任教員		
授業の 目標・ね らい	1. 精神に健康問題をもつ患者の主な症状の特徴と看護のあり方を理解する。 2. 精神に健康問題をもつ患者の主な疾患看護を理解する。 3. 精神に健康問題をもつ患者の主な検査・治療看護を理解する。 4. 精神に健康問題をもつ患者にとって、環境を治療的に整えることの重要性がわかる。 5. 精神に健康問題をもつ患者の看護展開能力を養う。											
授業内 容および 方法	18	回	主題					方法	担当者			
		1	コースガイダンス					講義	毛利			
		2	うつ病を持つ患者の看護					講義	玉井			
		3	双極性障害を持つ患者の看護					講義	玉井			
		4	長期入院者に関する看護					講義	玉井			
		5	自殺に関連した看護①					講義	玉井			
		6	自殺に関連した看護②					講義	吉永・毛利			
		7	統合失調症の事例演習					講義・演習	毛利			
		8						講義・演習	毛利			
		9						講義・演習	毛利			
		10						講義・演習	毛利			
		11						講義・演習	毛利			
		12						講義・演習	毛利			
		13	事例演習の発表・まとめ					講義	毛利・玉井			
		リクレー ション 療法	14	音楽療法 講義					講義	塚本		
			15	音楽療法 実習					実習	塚本		
			試験									
単元ごとは順不同です。												
評価方 法	課題:15点 グループワーク:5点 筆記試験:80点											
履修上 の注意												
テキスト	精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 第6版 HIROKAWA パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護学 第2版 照林社											
参考図 書	・江口重幸: ナラティブと医療 金剛出版											